

## 伝送遅れ

本システムの伝送方式は時分割多重伝送のため信号の伝達遅れが生じます。  
その伝達遅れの要因は  
1.リフレッシュサイクルタイム(伝送点数により異なります)  
2.伝送ラインエラーチェックタイム(伝送点数に関係なく一定です)  
3.二重照合機能(リフレッシュサイクルごとに照合します)  
その結果、PLCコネクタ→パワーターミナル、センサターミナル→PLC  
コネクタ間の信号伝達遅れ時間はつぎのようになります。

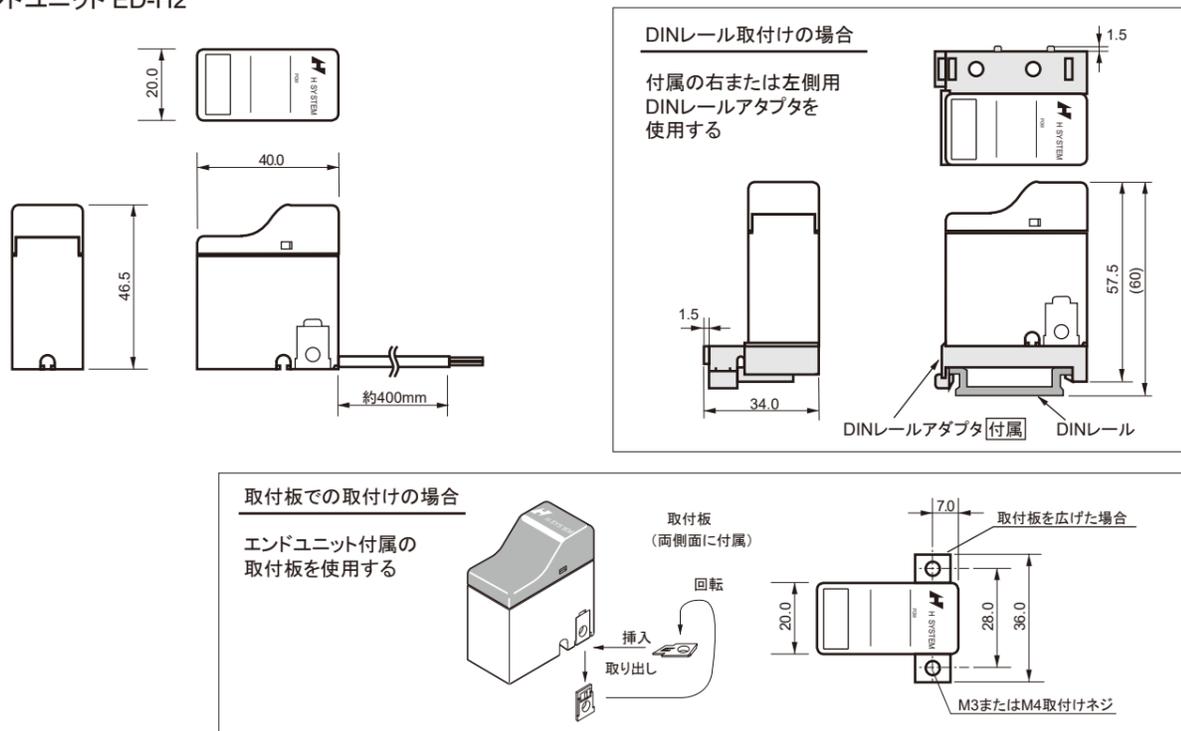
点数	リフレッシュタイム	遅れ時間
32	1.6 ms	1.8~4.5 ms
64	2.7 ms	2.9~6.7 ms
96	3.8 ms	4.0~8.9 ms
128	4.9 ms	5.1~11.0 ms

注)上記数値は伝送速度 29.4 kbpsのとき

## 外形寸法

### ■エンドユニット ED-H2

単位: mm



## 保証についてのお願い

本製品の保証は日本国内で使用する場合に限りです。

- 保証期間  
納入品の保証期間は、ご注文主のご指定場所に納入後1箇年とします。
- 保証範囲  
上記保証期間中に、本取扱説明書にしたがった製品仕様範囲内の正常な使用状態で故障が生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を無償で行ないます。  
ただし、つぎに該当する場合は、この保証範囲から除外させていただきます。  
(1) 需要者側の不適当な取り扱い、ならびに使用による場合。  
(2) 故障の原因が納入品以外の事由による場合。  
(3) 納入者以外の改造、または修理による場合。  
(4) その他、天災、災害などで、納入者側の責にあらざる場合。  
ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただけます。
- 有償修理  
保証期間後の調査、修理はすべて有償となります。また、保証期間中においても、上記保証範囲外の理由による故障修理、故障原因調査は有償にてお受けいたします。

## NKE株式会社 [旧社名(株)中村機器エンジニアリング]

商品に関するご質問は、フリーダイヤル、もしくはEメールにてお問い合わせください。  
(AM.9:00~PM.5:00 土日、祝祭日を除く)

☎ 0120-77-2018

✉ promotion@nke.co.jp

- 本社工場 〒612-8487 京都市伏見区羽東師菱川町366-1
- NKEホームページ : <https://www.nke.co.jp/>
- お断りなくこの資料の記載内容を変更することがありますのでご了承ください。

©2022 NKE Corporation

NO. UM019-J

# NKE

# UNILINE 取扱説明書

## ED-H2 エンドユニット

### ●型式番号

ED-H2 : Hシステム用エンドユニット  
[終端ユニット]

本システム機器をお買いあげいただきありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みのうえご使用ください。  
安全にお使いいただくため、次のような記号と表示で注意事項を示していますので必ず守ってください。



**警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



**注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、および物的損害のみの発生が想定される内容です。



### ○システム安全性の考慮

本システムは、一般産業用であり安全用機器や事故防止システムなど、より高い安全性が要求される用途に対して適切な機能を持つものではありません。  
○設置や交換作業の前には、必ずシステムの電源を切ってください。



**注意**

### ○システム電源

DC24V安定化電源を使ってください。  
非安定電源はシステムの誤動作の原因となります。

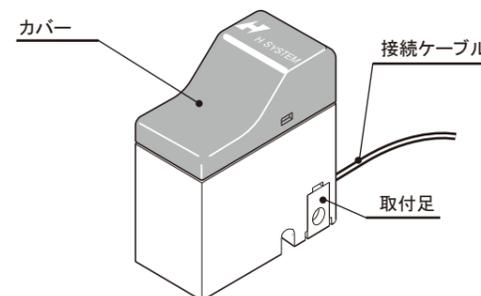
### ○高圧線、動力線との分離

本システムは高いソイズマージンを有していますが、伝送ライン、入出力ケーブルは、高圧線や動力線から離してください。

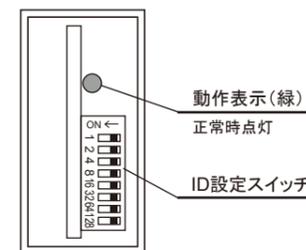
### ○コネクタ接続、端子接続

・コネクタ内側には金属くずなどを入れないでください。  
・コネクタがはずれないようケーブル長さなどに配慮してください。  
・誤配線は機器に損傷を与えます。  
○本システムは、下記資料に定められた仕様や条件の範囲内でご使用ください。

## 各部の名称



・平面図(カバー開)



## 特長

- Hシステム内でセンドユニットからのID送信に应答するユニットです。
- DINレールアダプタで、DINレールに取付けできます。

## 仕様

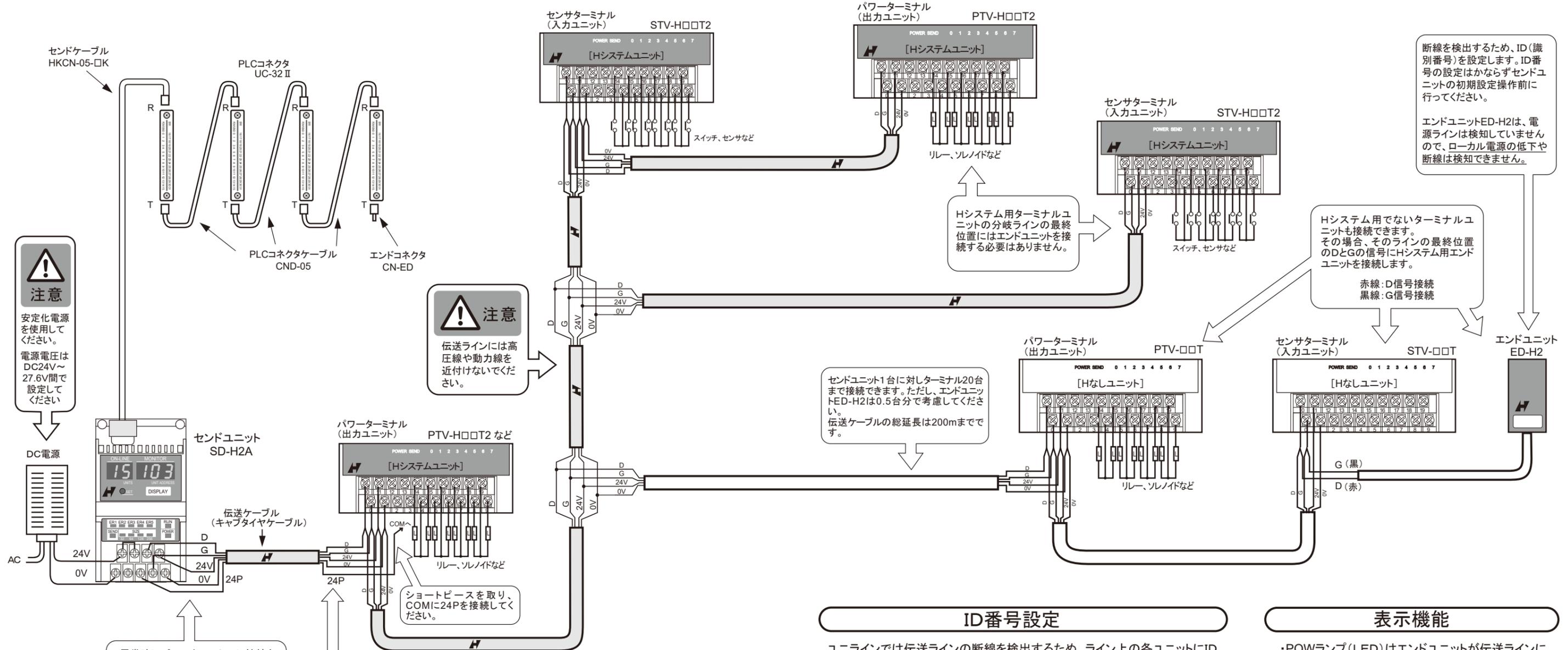
### ■一般仕様

項目	仕様
電源電圧	(システム電源) DC 24V +15% -10%
使用周囲温度	0 ~ +50°C
保存温度	-20 ~ +70°C
使用周囲湿度	35~85%RH 結露なきこと
雰囲気	導電性塵埃、腐食性ガスがないこと
耐振動	JIS C 60068-2-6 に準拠
耐衝撃	100m/s2

### ■性能仕様

項目	仕様
伝送方式	双方向時分割多重伝送方式
同期方式	ビット同期方式
伝送手順	ユニライン・プロトコル
伝送速度	29.4kbps(基本)
伝送距離	最大 200m(基本)
接続方式	マルチドロップ接続
ID設定範囲	0~254
ファンイン	0.5
質量	25 g

# 接続例



断線を検出するため、ID(識別番号)を設定します。ID番号の設定はかならずセンドユニットの初期設定操作前に行ってください。

エンドユニットED-H2は、電源ラインは検知していませんので、ローカル電源の低下や断線は検知できません。

**注意**  
安定化電源を使用してください。電源電圧はDC24V~27.6V間で設定してください

**注意**  
伝送ラインには高圧線や動力線を近付けないでください。

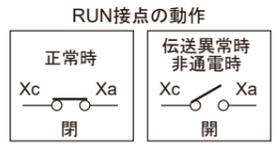
センドユニット1台に対しターミナル20台まで接続できます。ただし、エンドユニットED-H2は0.5台分で考慮してください。伝送ケーブルの総延長は200mまでです。

Hシステム用ターミナルユニットの分岐ラインの最終位置にはエンドユニットを接続する必要はありません。

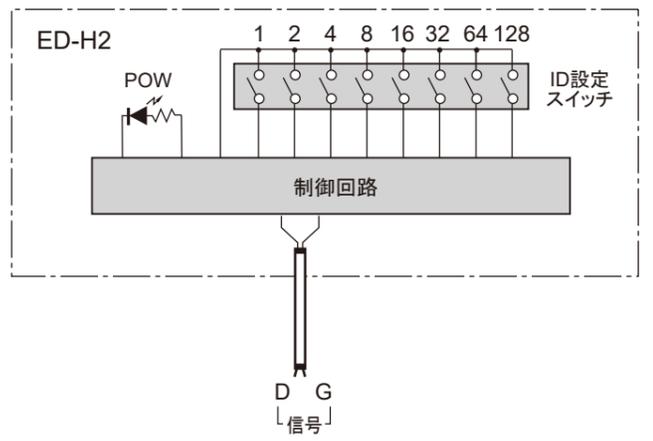
Hシステム用でないターミナルユニットも接続できます。その場合、そのラインの最終位置のDとGの信号にHシステム用エンドユニットを接続します。

赤線：D信号接続  
黒線：G信号接続

異常時にパワーターミナルに接続された負荷を切りはなす場合はショートピースを取り、そのCOM端子に異常時断となる24V電源24Pを供給します。24PはRUN接点Xc-Xaを使って作ります。



## 内部構成

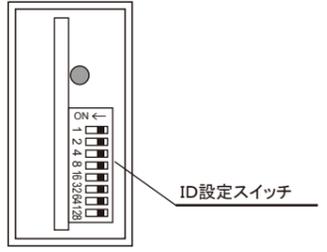


## ID番号設定

ユニラインでは伝送ラインの断線を検出するため、ライン上の各ユニットにID(識別番号)を設定します。ID番号の設定はかならずセンドユニットなどの初期設定操作前に行ってください。

- 1) 上部カバーを取り出し、ID設定スイッチにより、エンドユニットのID番号を設定します。ID番号は0~254の範囲に設定してください。
- 2) 設定するID番号は、他のエンドユニットやHシステム用ターミナルと重ならないようにしてください。重なっていると断線検知ができなくなります。
- 3) ID番号は、ターミナルユニットのアドレスとは別のものですが、最も近いターミナルユニットのアドレスと同じに設定しておけば、断線箇所の発見に便利です。
- 4) ID番号設定後は、かならずカバーを取り付けてください。

●ID設定スイッチ  
カバーを開きID設定スイッチを操作します。



●ID設定方法

ID番号	スイッチの設定							
	1	2	4	8	16	32	64	128
0								
1	○							
2		○						
3	○	○						
4			○					
5	○		○					
:	:	:	:	:	:	:	:	:
253	○	○	○	○	○	○	○	○
254	○	○	○	○	○	○	○	○

○印はON、無印はOFFの設定

## 表示機能

・POWランプ(LED)はエンドユニットが伝送ラインに正しく接続されているときに点灯します。(誤ってDC24Vに接続された場合も点灯することがあります。)

